

助教  
新郷 朋香

## ■ 学歴

---

1. 2009年 天使大学大学院 助産研究科 助産専攻修了

## ■ 学位

---

1. 助産修士（専門職）

## ■ 研究分野

---

1. 助産ケア
2. 産後ケア
3. 母性看護学

## ■ 研究キーワード

---

1. 助産ケア
2. 産後ケア
3. 継続支援

## ■ 研究課題

---

1. 助産師の妊娠期から産褥期における継続的ケアについて考察する
2. コロナ禍での学内実習における学生の学びと実習の成果を考察する

## ■ 担当授業科目

---

1. 看護学科 母性看護学演習
2. 看護学科 母性看護学実習
3. 助産別科 助産診断・ケア学Ⅰ（妊娠期）
4. 助産別科 助産診断・ケア学Ⅱ（分娩期）
5. 助産別科 助産診断・ケア学Ⅲ（産褥期）
6. 助産別科 助産診断・ケア学Ⅳ（新生児期・乳幼児期）
7. 助産別科 助産診断・ケア学Ⅵ（健康教育演習）
8. 助産別科 助産診断・ケア学Ⅶ（助産過程演習）
9. 助産別科 母子の心理・社会学
10. 助産別科 助産学基礎実習
11. 助産別科 助産学実習Ⅰ
12. 助産別科 助産学実習Ⅱ
13. 福祉学科 看護学

## ■ 授業を行う上で工夫した事項

---

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<p>授業科目名【看護学科 母性看護学演習】</p> <p>看護過程の展開では、実際に実習で活用できるよう、事例を設けた。小グループでワークを行い数十名の学生を受け持ち、個別での時間を設け理解を深めることが出来るよう関わった。</p> <p>また、技術演習では、繰り返し確認できるよう動画視聴による工夫を行った。技術練習・技術テストの時間を設け、細やかな指導が行えるよう時間と場所の設定をした。</p>
2.	<p>授業科目名【看護学科 母性看護学実習】</p> <p>臨地実習では、施設ごとに感染による制限が異なっていたが、指導者と調整を行いできるだけ多くの経験や見学ができるよう調整した。テーマカンファレンス・まとめカンファレンスを実施しディスカッションを通して母性看護への学びを深めることが出来るよう支援した。また、実習初日と最終日には面談を実施し各学生の自己課題や母性看護の学びについて振り返りを行った。</p>
3.	<p>授業科目名【助産別科 助産診断・ケア学Ⅰ（妊娠期）・Ⅱ（分娩期）・Ⅲ（産褥期）Ⅳ（新生児期乳幼児期）】</p> <p>科目責任者と共に、助産学生の学習状況や達成状況などを考え演習の組み立て、実践を行った。学生の知識が実際の対象者へのケアに結びつけることが出来るよう支援を行った。</p> <p>また、ロールプレイで対象者や助産師、第三者の視点に立つことが出来るよう計画し、自分のケアを振り返る機会を設けた。</p>
4.	<p>授業科目名【助産診断・ケア学Ⅵ（健康教育演習）・Ⅶ（助産過程演習）】</p> <p>看護過程の展開では、実際に実習で活用できるよう、事例を設けた。小グループでワークを行い数名の学生を受け持ち、知識の共有を行ったり、個別での時間を設け理解を深めることが出来るよう関わった。</p>
5.	<p>授業科目名【助産別科 助産学実習】</p> <p>臨地実習では、学生の体調管理や感染予防に努め、実習施設や母児、学生の安全を最優先に配慮した。学生の個別性を考慮し、指導の方向性を他教員とも共有しながら支援した。また、臨床指導者との意見交換を行い学生の進捗状況や学びをフィードバックし、より深く理解できるよう支援した。</p>
6.	<p>授業科目名【福祉学科 看護学】</p> <p>福祉学科 2 年生に対し、助産師の役割・活動の実際について講義を実施した。助産師を身近な存在と捉えることが出来るよう、また生命の尊さについてベビー模型を使用しながら視覚・体験から感じる事の出来るよう工夫した。</p>

## ■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2009 年 4 月～現在に至る	日本看護協会	
2.	2020 年 4 月～現在に至る	日本助産学会	
3.	2020 年 4 月～現在に至る	全国助産師教育協議会	

## ■ 研究業績等に関する事項（2024 年度）

発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学	概 要

				会等の名称	
<b>(著書)</b>					
1.	なし				
2.					
3.					
<b>(学術論文)</b>					
1.	なし				
2.					
3.					
<b>(翻訳)</b>					
1.	なし				
2.					
3.					
<b>(学会発表)</b>					
1.	なし				
2.					
3.					

## ■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

<b>(1) 共同研究</b>				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.	なし			
2.				
3.				

<b>(2) 個人研究</b>				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.	なし			
2.				
3.				

## ■ 社会における活動

任期 期間等	団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等

1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2020年～現在に至る	助産学生アドバイザー（4名）	
2.	2020年～現在に至る	国家試験対策委員	